



**MASTER KEY プロジェクトは
発足から
5周年を迎えました。**

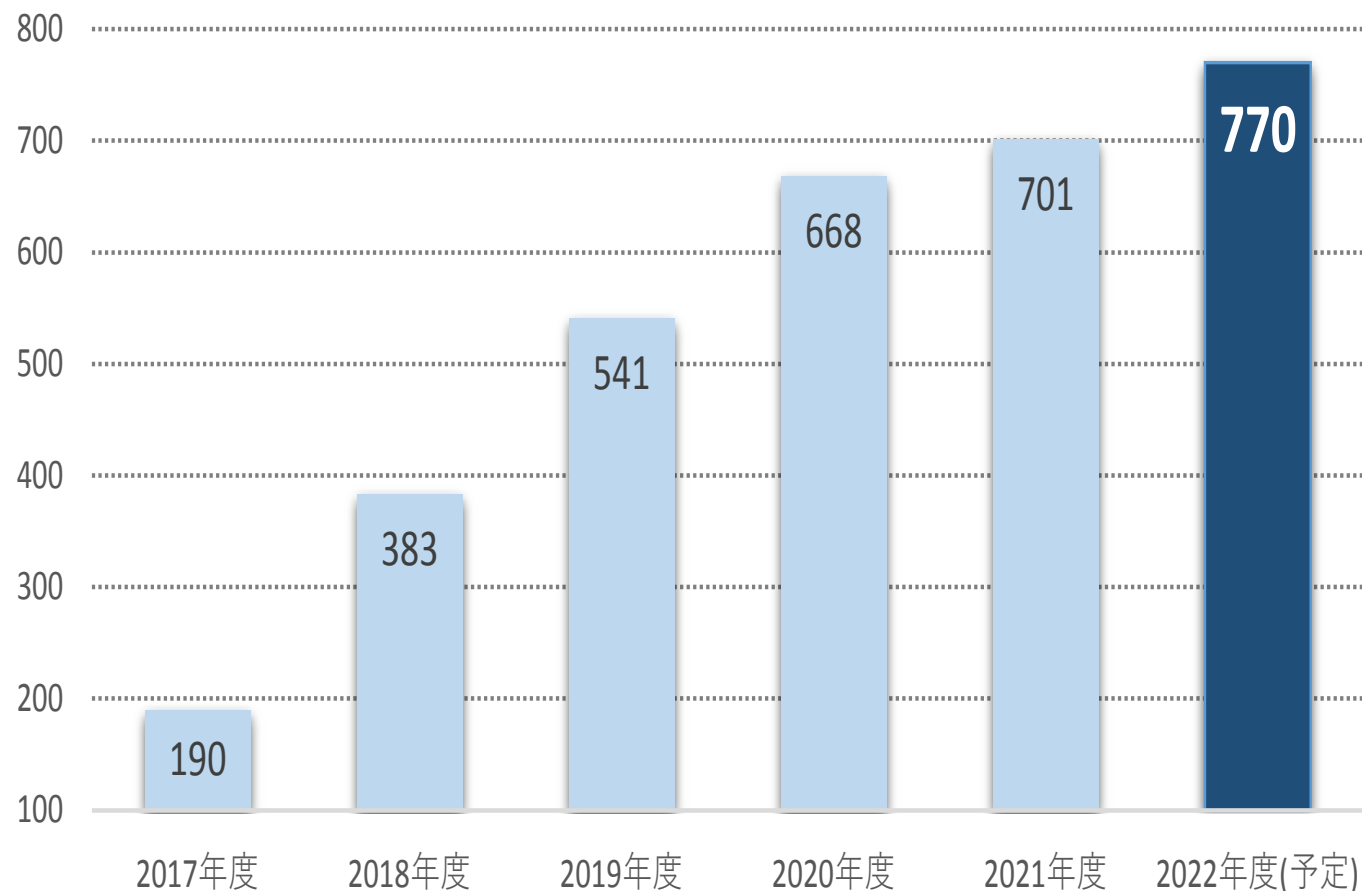
5周年を迎え、 プロジェクトの5年間の歩みを振り返ります。

- レジストリ登録数
- 参加企業数
- 参加施設数
- 副試験数
- MASTER KEY Asia レジストリ登録数

MASTER KEY Project 5年間の振り返り

- 今後、**固形腫瘍のみならず、血液腫瘍・小児腫瘍のデータもますます登録されてくる見込み**
→レジストリの更なる充実と魅力的なデータベース構築を目指します。
- 年度末（早ければ年内）にはレジストリ登録数が**3000例を突破**する見込み

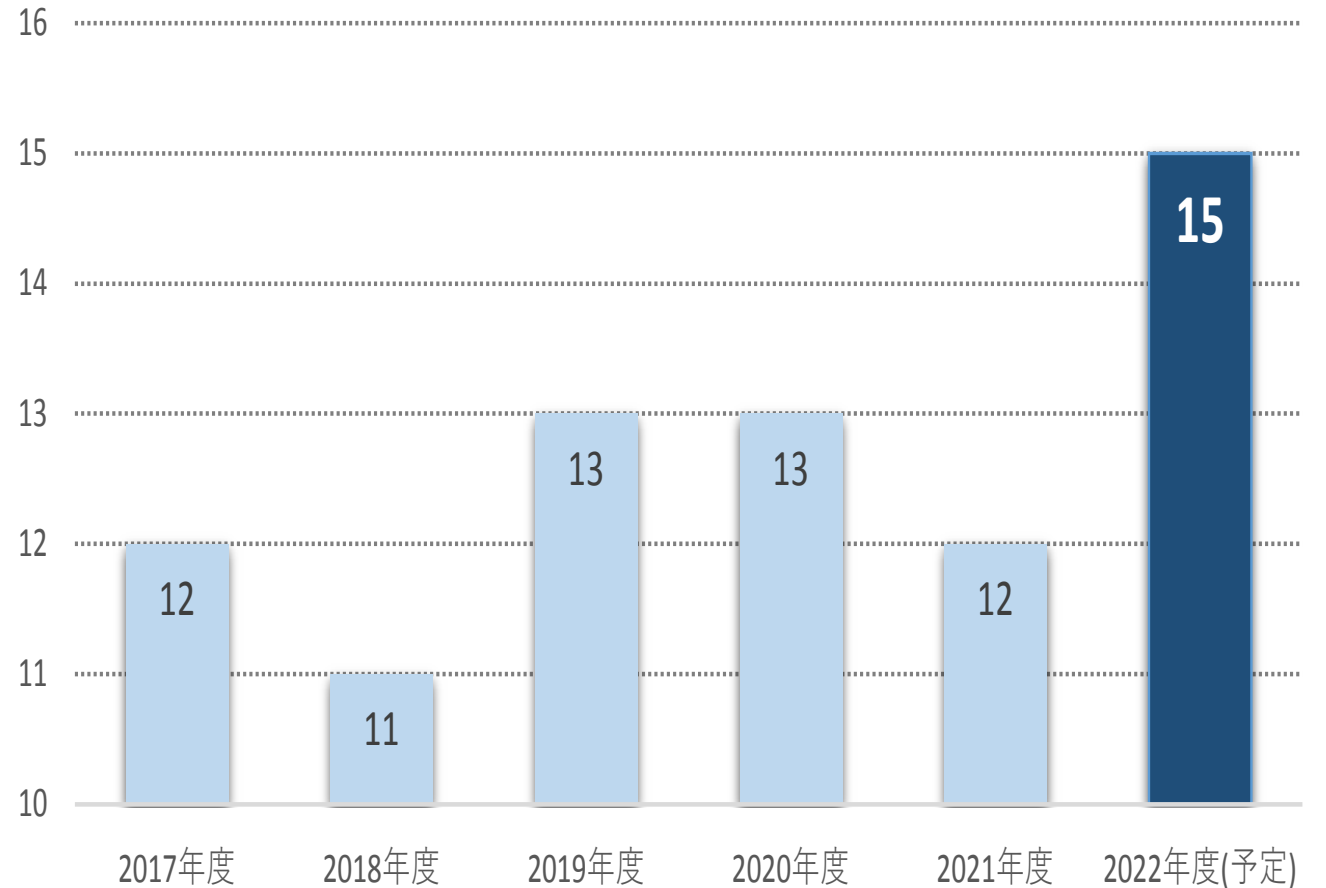
レジストリ登録数/年（MK国内）



MASTER KEY Project 5年間の振り返り

- 本プロジェクトの目的に協賛し、参加する企業数は **本年度過去最大数** となりました。
- 本プロジェクトの **データベースを利活用する目的**や、治験を本プロジェクトの傘下に位置づけ、**治験への登録促進を目的**として、新規参画いただきました。
- また、これ以外にも現在、参画を検討していただいている企業があります。

参加企業数(累計)

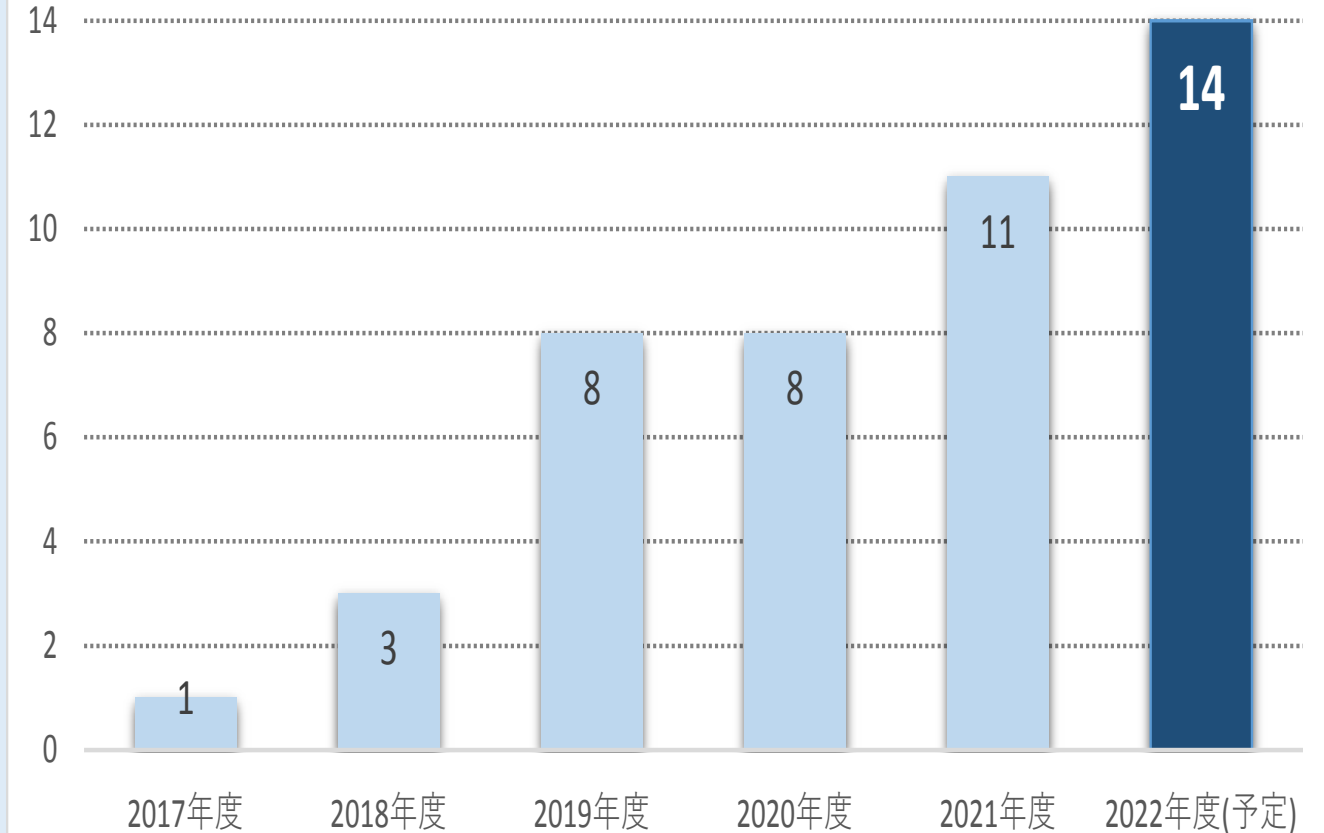


MASTER KEY Project 5年間の振り返り

- ▶ 地域性を考慮して参加施設数を増やし、
幅広い地域からプロジェクトに
参加できるようになりました！
→日本全国の希少がん患者さんを網羅した
データベース構築が可能となります。



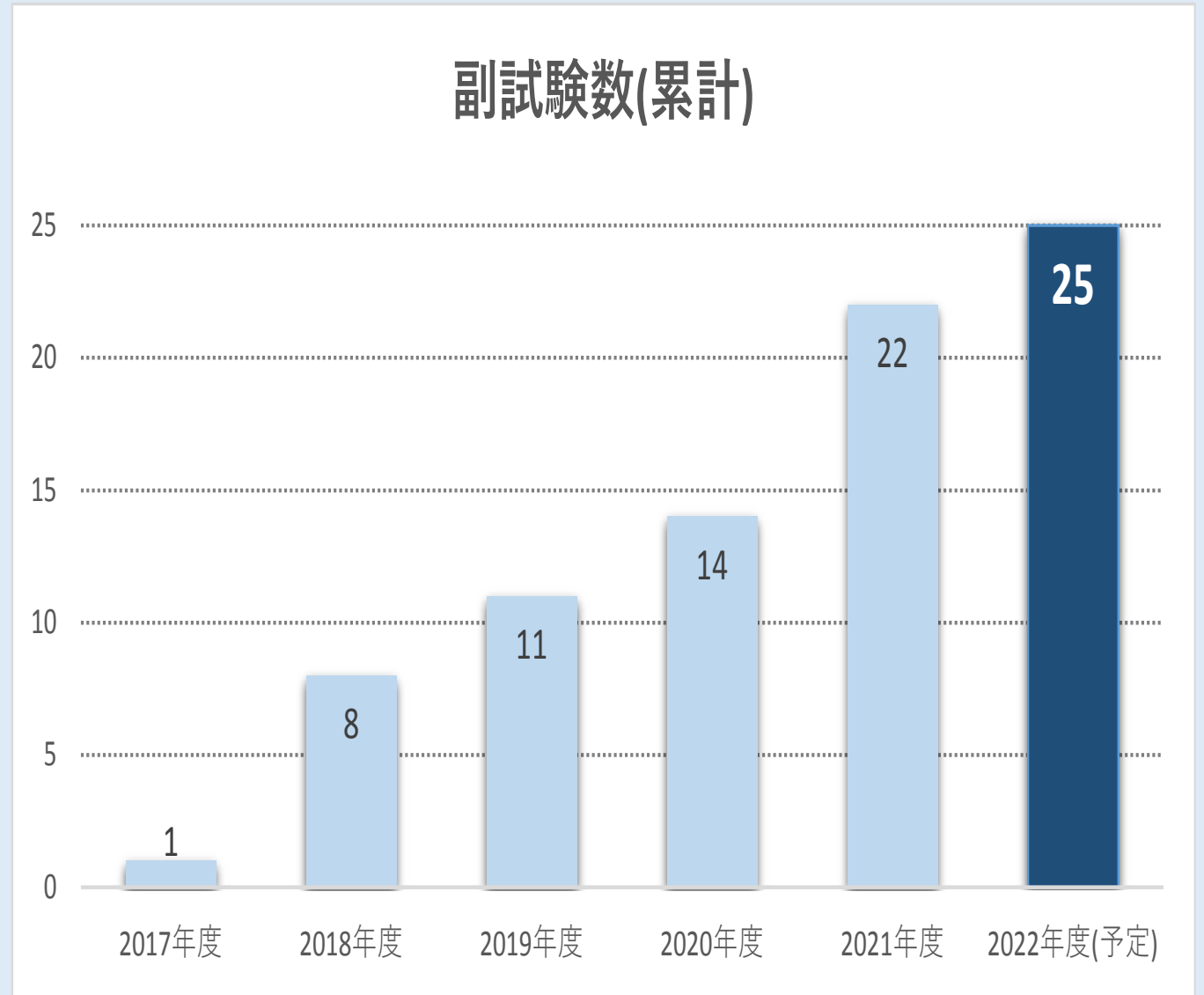
参加施設数(累計)



(注) 参加施設数各施設の固形・血液をそれぞれ1としてカウント

MASTER KEY Project 5年間の振り返り

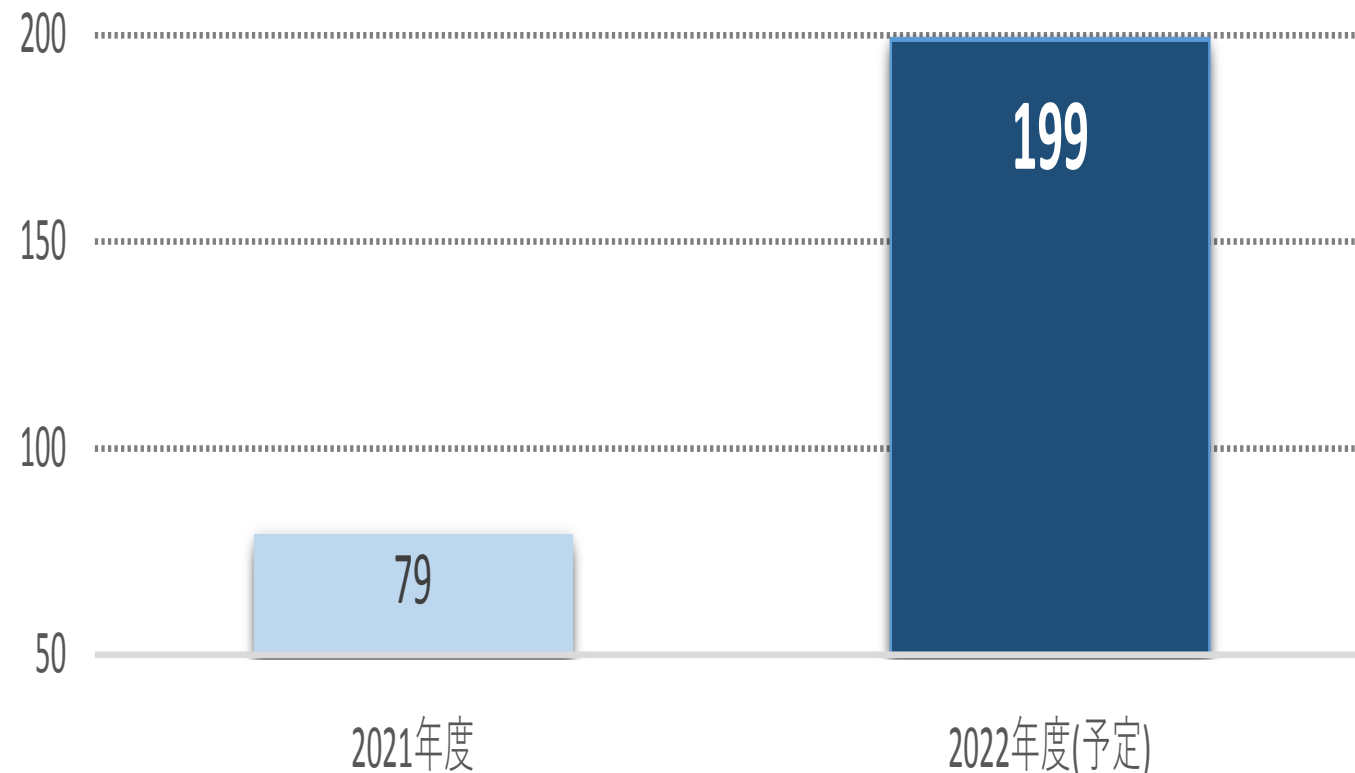
- ▶ 本プロジェクトの傘下とした
副試験数は年々増加しています。
- ▶ 非常に希少ながん種、フラクションを
ターゲットとした治験でも、本プロジェ
クトの傘下に含めることで、
治験への登録を促すことが出来ています。
- ▶ アカデミア主導の医師主導治験をもとに
薬事承認を受けた薬剤も年々増えており、
希少がん患者さんのアンメット・メディ
カル・ニーズを満たした成功例を増やし
ていきます。



MASTER KEY Project 5年間の振り返り

- 2021年11月にMASTER KEY Asiaの登録が始まりました。
- 登録開始から半年で100例の登録がありました。
- **参加施設も拡大中**
(台湾、韓国など)

MASTER KEY Asiaレジストリ登録数



MASTER KEY Project 5年間の振り返り



□ ガテリエ・ローリンさんからメッセージ

(NPO法人脳腫瘍ネットワーク理事長、

一般社団法人日本希少がん患者会ネットワーク理事)

～MASTER KEYプロジェクト発足日（5/26）に

国立がん研究センター 希少がんセンターのFacebookに公開

<https://www.facebook.com/rarecancer/>

